Blustream

Dante USB オーディオエンコーダ・デコーダV2

DA11USB-V2

取扱説明書

エーディテクノ
ADTECHNO

Ver.1.0

改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver.1.0	2025／07／02	初版

安全上のご注意

この度は、DA11USB-V2 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえでご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

⚠警告　誤った取り扱いをしたとき、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。

⚠注意　誤った取り扱いをしたとき、軽傷または建築物・財産などへの損害に結びつくもの。

本取扱説明書内に使われている記号（例）の意味は下記の通りです。

メモ　操作に関するヒントまたは追加情報です。

⚠警告

- 本使用上の注意・保証書で記載されている以外の使い方をしないでください。本使用上の注意・保証書の指示に従わずに起きた事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所結露しているところ、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止してください。

⚠警告

- 使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音などが発生したりする場合は、すぐに使用を中止して、ご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。
- LAN ケーブルを抜き挿しする場合は、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜くと、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。
- 濡れた手で本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。

⚠注意

- PoE 給電を使用するときは、IEEE802.3af 規格に適合した LAN ケーブルを使用してください。
- ケーブルは、プラグの部分を持って取り付け、取り外しを行ってください。ケーブル部分を引っ張ったりしないでください。
- USB B to Aケーブル、USB C to C ケーブルは専用品です。他社製品は保証の対象外です。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため、ケーブル類をすべて抜いて保管してください。

⚠注意

- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関するサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、各自治体の条例に従ってください。内容については、各自治体へお問い合わせください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

各部名称 5
ネットワークスイッチの選択 6
接続図 7
電源入力 8
本機の制御 8
Dante Controller ソフトウェア 8
ウェブGUI｜IPアドレス変更・再起動など 11
Telnetコマンド制御｜再起動・リセット 12
USBオーディオ設定 13
トラブルシューティング 15
主な仕様 16
外型寸法 16
サポート専用問い合わせ先 17

製品概要

本機は、DanteまたはAES67デジタルオーディオ信号とUSBオーディオ信号をエンコードまたはデコード可能なオーディオエンコーダ・デコーダです。USBオーディオ・デバイス・クラス2.0に対応し、Windows PCまたはMacBookへのプラグアンドプレイ接続が可能で、最大32ビット、96kHzサンプリング周波数のDanteまたはAES67オーディオとUSBオーディオ信号をエンコードまたはデコードします。

製品特長

- 2chのUSB オーディオからDanteデジタルオーディオにエンコード対応
- Dante デジタルオーディオから2chのUSBオーディオにデコード対応
- 付属ケーブルでUSBタイプ AまたはUSBタイプ C経由でPCへの接続可能
- USB オーディオ・デバイス・クラス2.0に対応
- 最大32ビット、96kHzサンプリング周波数の Dante デジタルオーディオに対応
- AES67 RTP デジタルオーディオに対応
- PoEまたはUSBバスパワーで駆動

各部名称

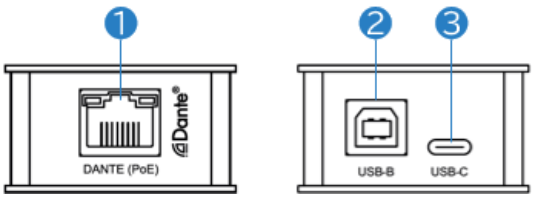


図1 – 本機前面･背面

❶ **DANTE (PoE)** - RJ-45ポート(Danteネットワークに接続します)。

❷ **USB Type-Bポート** - 本体のUSB動作モード切り替えスイッチを「USB－B」に切り替えたうえ、付属のUSB B to A ケーブルで PC と接続します。

❸ **USB Type-C ポート** - 本体のUSB動作モード切り替えスイッチを「USB－C」に切り替えたうえ、付属のUSB C to C ケーブルで PC と接続します。

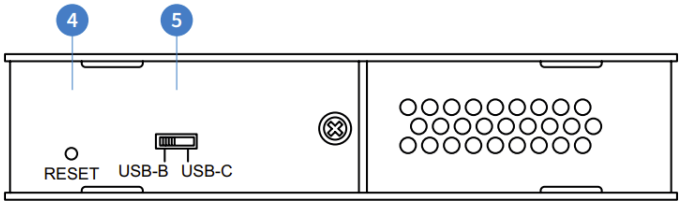


図2 – 本機側面

❹ **RESET** - リセットボタンです。(約5秒間押し続けてください。)※1

❺ **USB-B／USB-C** – 使用するUSBポートの切り替えスイッチです。

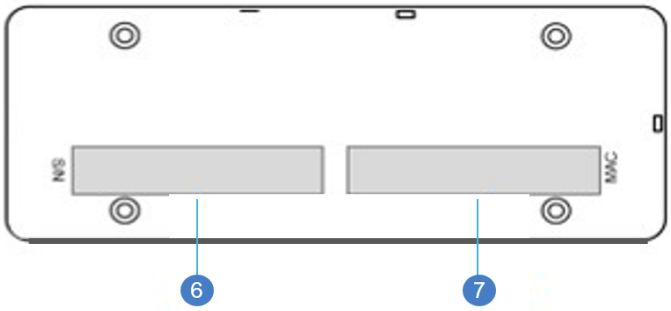


図3 - 本機底面

❻ **S／N** - 本機のシリアル番号です。

❼ **MAC** - 本機の MAC アドレスです。

※1 本機のDanteオーディオ設定、ネットワーク設定、ウェブGUIログインパスワードはすべて初期設定値にリセットされます。

ネットワークスイッチの選択

Dante ネットワークを構成するには以下の要求を満たすネットワークスイッチが必要です。

必須要件

- 1Gbps 対応ノンブロッキングネットワークスイッチ(レイヤー2 以上)であること
- 省電力モード(例:Energy Efficient Ethernet)を確実にオフできること
- 4 つのキューを持つ QoS(Quality of Service)に対応すること
- DiffServ(DSCP)QoS に対応すること

推奨要件

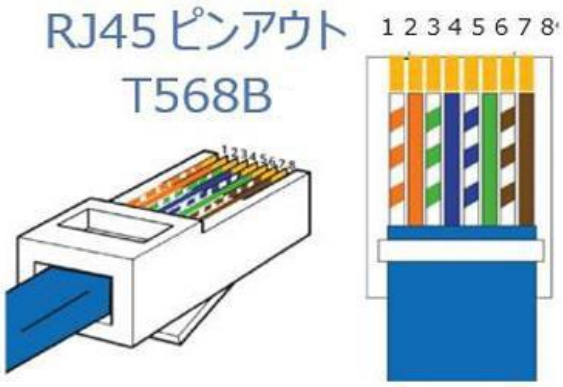
- マネージドスイッチ
- DHCP に対応していること
- IGMP Snooping v2／v3 に対応していること

ご注意

詳しい要件は Audinate オフィシャルページでご確認ください。
https://www.getdante.com/support/faq/networks-and-switches/

LANケーブル

本機に接続するLANケーブルは、正しいRJ45ピン構成で配線してください。LANケーブルは「ストレート」(ピン対ピン)、EMI(電磁干渉)の影響を受けにくいT568B結線規格で配線することを推奨します。LANケーブルを敷設する際には、できるだけ高品質なLANケーブルを採用することをおすすめします。



接続図

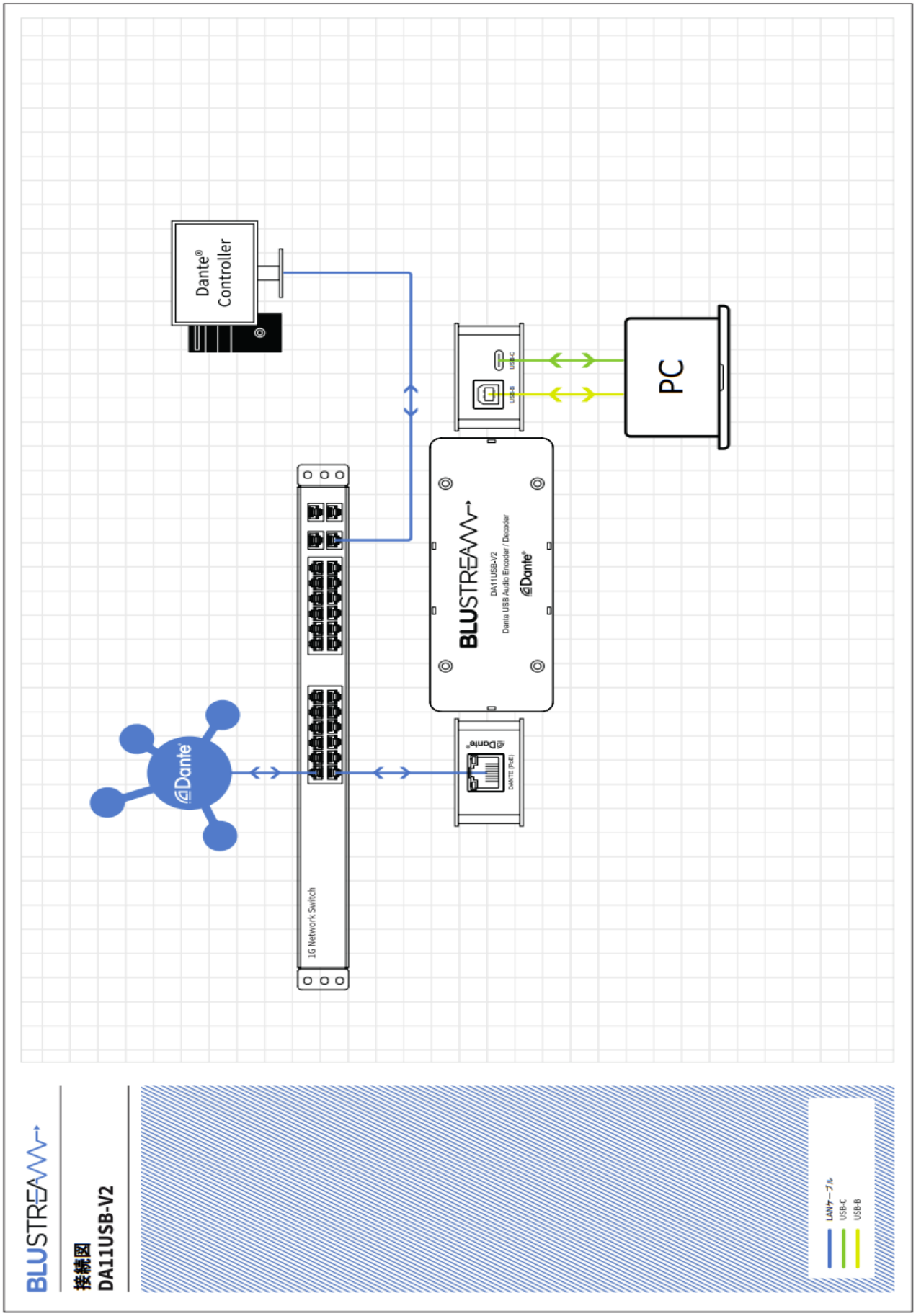

BLUSTREAM
接続図
DA11USB-V2
Dante®
Controller
1G Network Switch
Dante
DANTE (PoE)
BLUSTREAM
DA11USB-V2
Dante USB Audio Encoder / Decoder
Dante
USB-B
USB-C
PC
LANケーブル
USB-C
USB-B

図5 - 接続図

電源入力

本機への電源供給方法は、PoE給電またはUSBバスパワー給電の2つの方法があります。
IEEE802.3afに準拠したPoE機能付きネットワークスイッチ、またはPCのUSBバスパワー(5V 500mA)から電源供給します。

本機の制御

本機の制御方法及び設定項目は下記の通りです。

制御方法 設定項目	本体ボタン／スイッチ	Dante Controller	本機ウェブ GUI	Telnet（TCP／IP 経由）	PC（サウンド設定）
USB 動作モード切り替え	○	-	-	-	-
Dante オーディオ設定	-	○	-	-	-
USB オーディオ設定	-	-	-	-	○
本機 IP アドレスの確認	-	○	○	○	-
本機 IP アドレスを含むネットワーク設定およびリセット	○	-	○	○	-
再起動	-	-	○	○	-
Dante オーディオファームウェアのアップデート	-	○	-	-	-
本機 MCU のアップデート	-	-	○	-	-

表1 - 本機の制御方法及び設定項目一覧

Dante Controller ソフトウェア

本機は、Dante Controllerソフトウェア(以下 “Dante Controller”)を使用してオーディオのルーティングおよび設定を行います。

ダウンロード先

Dante Controllerは、Audinate 社のウェブサイトから無料でダウンロードできます。ご利用のPC(Windows または macOS)に合わせてインストールしてください。
https://www.getdante.com/products/software-essentials/dante-controller/

※ 本書は下記バージョンの Dante Controllerの操作方法を説明します。ご利用のバージョンによって設定画面、項目が異なる場合があります。予めご了承ください。

図6 - Dante Controllerバージョン情報

本機の検知

本機をDanteネットワークに接続すると Dante Controllerは自動的に本機を検知します。Dante Controller上では「DA11USB-V2-xxxxxx」の名称で認識されます。Dante Controllerの「Routing」画面からDante エンコーダ(Transmitters)または、デコーダ(Receivers)のルーティング設定を行ってください。

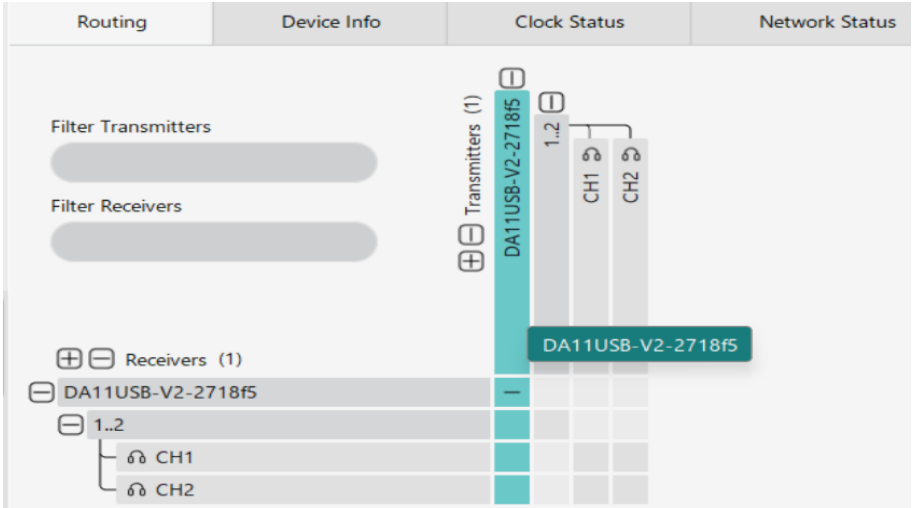


図7 - Dante Controller「Routing」タブ

ご注意

Dante Controllerで設定するPCは、必ずDante対応機器と同じネットワークに接続してください。Danteエンコーダ(送信機)およびデコーダ(受信機)は、Wi-Fi接続によるデータ転送には対応しておりません。Dante対応機器は必ずLANケーブルを介してネットワークへ接続してください。接続するPCはWi-Fi接続を無効にすることを推奨します。

ステータス確認

Dante Controller「Devices」>「Device View」の順にクリックし、「Status」タブより、本機のDanteソフトウェアバージョン、IPアドレスなどの情報を確認できます。

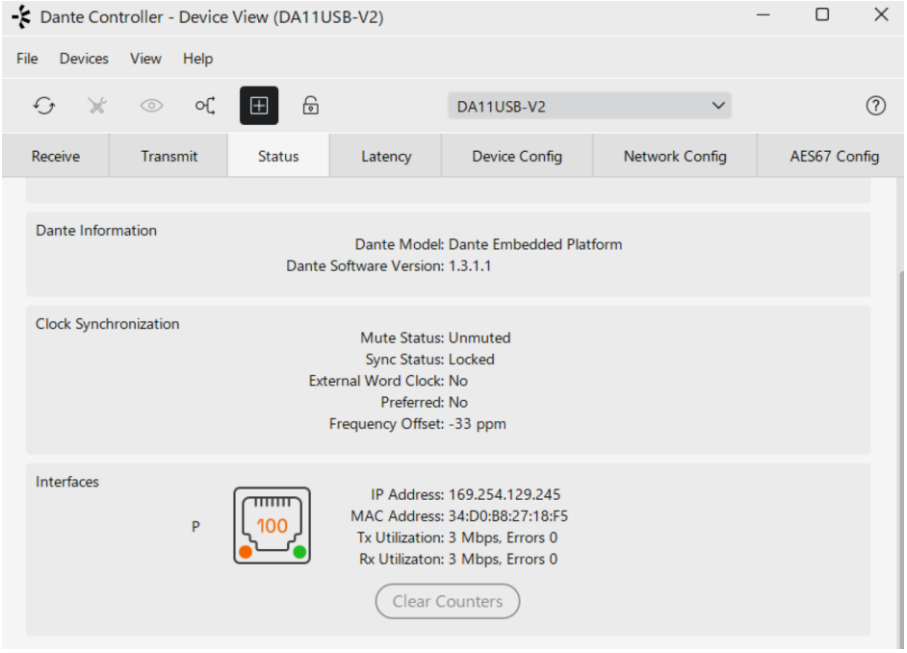


図8 - Dante Controller「Devices」>「Device View」>「Status」タブ

デバイス設定

Dante Controller「Devices」>「Device View」の順にクリックし、「Device Config」タブより、本機のデバイス名変更、サンプルレート、ビット長、レイテンシーの設定が行えます。

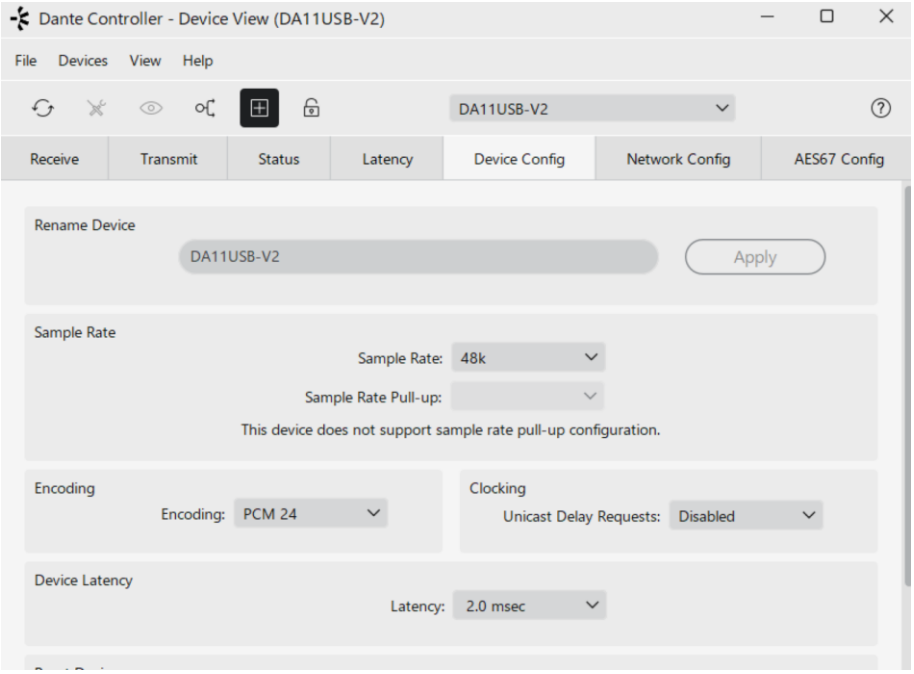


図9 - Dante Controller「Devices」>「Device View」>「Device Config」タブ

ご注意

Dante対応製品では、同じサンプルレートが設定されているエンコーダ(Transmitters)とデコーダ(Receivers)間のみでオーディオ伝送が可能です。接続する他のDante対応機器と同じビット長、サンプルレートで設定されているかご確認ください。

AES67設定

Dante Controller「Devices」>「Device View」の順にクリックし、「AES67 Config」タブより、本機のAES67オーディオを有効／無効に設定します。※2

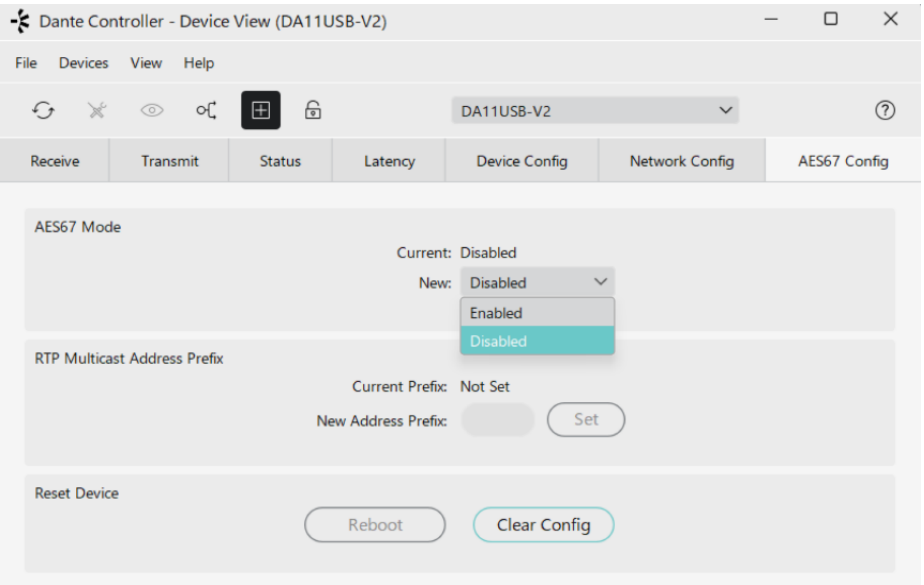


図10 - Dante Controller「Devices」>「Device View」>「AES67」タブ

※2 AES67 オーディオが有効になっている場合、本機から送受信される Dante デジタルオーディオも、24 ビット、48kHz に制限されます。新しい設定を適用するため、メニューに従い本機を再起動してください。

ウェブ GUI｜IP アドレス変更・再起動など

本機のIPアドレスを変更はDante Controllerではなく、ウェブGUIにて行います。
Dante Controllerで本機のIPアドレスを確認した後、ウェブブラウザでIPアドレスを入力し、ウェブGUIへアクセスできます。

ウェブGUIへのログイン

PCのブラウザでウェブGUIへログインしてください。

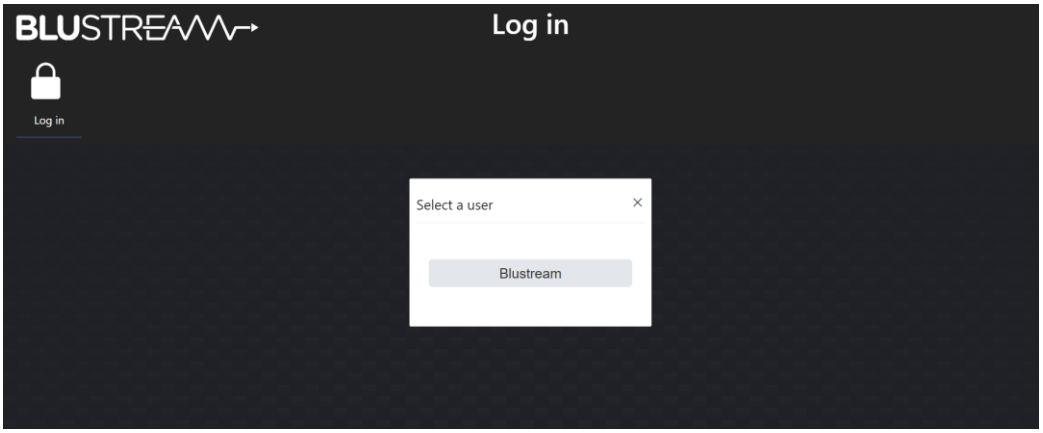


図11 - ウェブGUIログイン画面

本機の初期 IP アドレスセグメント、及びログイン情報は下記の通りです。
ユーザーネーム(Username): blustream
パスワード(Password): 1234※3

本機IPアドレスの設定

ウェブGUIの「Setting」ページで本機のIPアドレスを含むネットワークを設定できます。

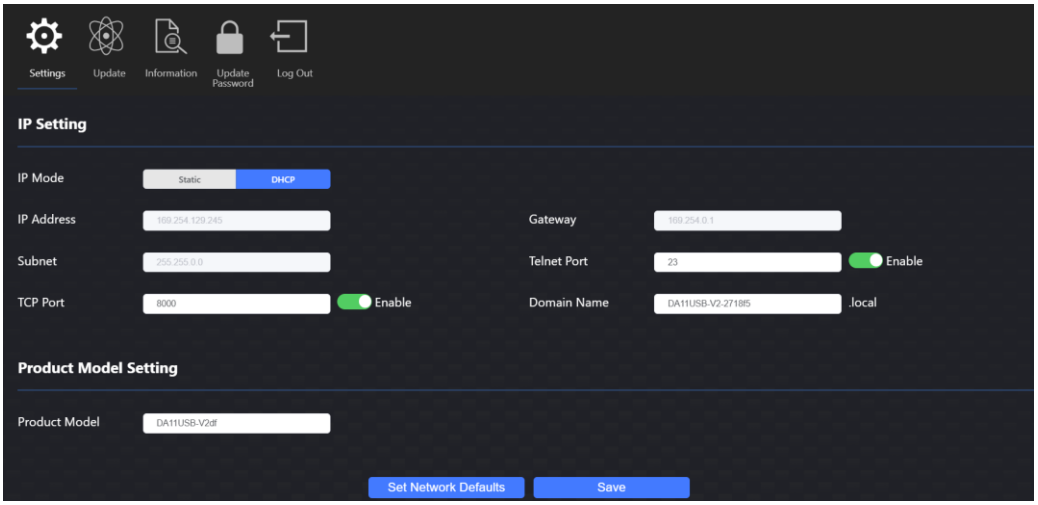


図12 - ウェブGUI「Setting」ページ

項目説明

IP Setting - 本機のネットワーク設定※4

IP Mode - DHCP／Static IP 切り替え(DHCP:動的 IP アドレス、Static IP:静的 IP アドレス)

IP Address - 本機の IP アドレス表示／設定欄

※3 初期パスワードはファームウェアバージョンにより変更されることがあります。製品箱にラベル貼付されている場合、そのラベルのパスワードをご使用ください。
※4 本機のネットワーク設定を変更したあと、Saveボタンをクリックし、設定を保存してください。

Gateway - 本機のゲートウェイアドレス表示／設定欄
Subnet - 本機のサブネットマスク表示／設定欄
Telnet Port - 本機の Telnet 通信ポート番号の設定（初期設定：23）
TCP Port - 本機の通信ポート 8000 のオン／オフ設定（ON：オン、OFF：オフ）
Domian Name - 本機のドメインネームの入力欄（初期設定：DA11USB-V2-xxxxx.local）
Product Model Setting - 使用しません。
Set Network Defaults - 本機のネットワーク設定を初期設定値にリセット
Save - 設定保存※5

本機ウェブGUIログインパスワードの変更

ウェブGUIの「Update Password」でログインパスワードを変更できます。パスワードは8文字以上16文字以下半角英字と半角数字の組み合わせを設定できます。

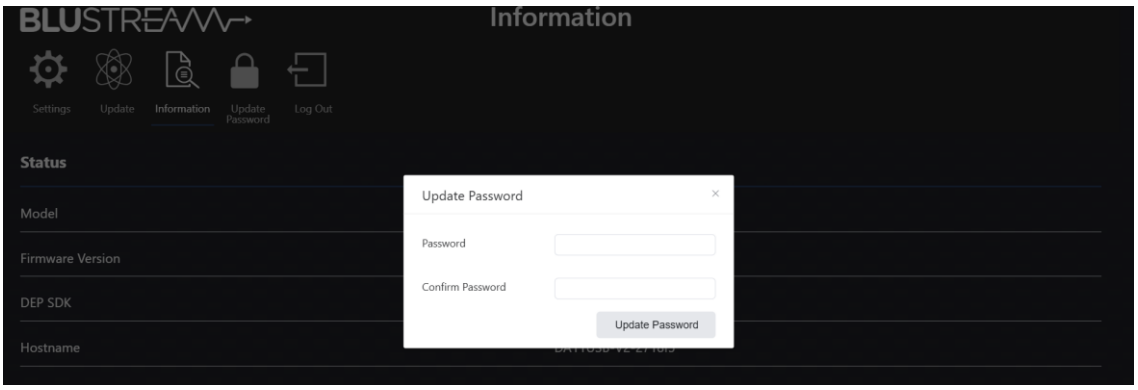


図13 - ウェブGUI「Update Password」

Telnet コマンド制御｜再起動・リセット

Telnet（TCP/IP経由）コマンドで本機を再起動、各種設定をリセット（Danteオーディオ設定以外）することができます。

本機のIPアドレスはDante Controllerで確認し、ターミナルエミュレータソフトウェアなど下記の通信ポートでTelnet接続します。

Telnet通信ポート：23（初期設定値）※6

Telnetコマンド

本機は、TCP／IP通信経由で制御が可能です。利用可能なコマンドを以下のページに記します。

良くある失敗例

キャリッジリターン – ご利用になられるターミナルソフトウェアによっては、キャリッジリターン（改行）が必要、不要の場合があります。一部のターミナルソフトウェアでは、トークン<CR>を使用してキャリッジリターンを実行するなど、ご利用になられるプログラムによって仕様が異なります。
スペース（空白） - 本機はスペース（空白）を認識せず動作します。

※5 ネットワーク設定を保存した後、新しい設定を適用するため、本機は自動的に再起動します。
※6 Telnet通信ポートはマトリックススイッチャーのウェブGUIにて変更できます。詳細は本書 ウェブGUI｜IPアドレス変更・再起動など を参照してください。

制御コマンド

コマンド	内容
HELP または？	ヘルプを表示する
STATUS	本機のステータス情報を表示する
RESET	本機設定を初期状態に戻す（ネットワーク設定を含まず、工場出荷状態：規定値） （「Yes」でリセットを確定、「No」でキャンセル）
RESET ALL	本機設定を初期状態に戻す（ネットワーク設定を含む、工場出荷状態：規定値） （「Yes」でリセットを確定、「No」でキャンセル）
REBOOT	本機をリブート（再起動）する

表2 - Telnetコマンドリスト

```
=================================================================
      DA11USB-V2 Help Info
      FW Version:MCU_Main V1.3.0/MCU_Sub V2.0.0/DEP_SDK V1.3.1.1

============================ System Information Command
?/HELP                        Print Help Information
STATUS                        Print System Status And Port Status
UPTIME                        Print System Uptime
============================ System Control Command
RESET                         Reset System Settings To Default
                              (Should Type "Yes" To Confirm, "No" To Discard)
RESET ALL                     Reset System And Network Settings To Default
                              (Should Type "Yes" To Confirm, "No" To Discard)
REBOOT                        Set System Reboot
============================ Network Control Command
NET DHCP ON/OFF               Set Auto IP(DHCP) On Or Off
NET IP xxx.xxx.xxx.xxx        Set IP Address
NET GW xxx.xxx.xxx.xxx        Set Gateway Address
```

図14 - コマンド「？」、「HELP」の応答例（一部）

```
=================================================================
      DA11USB-V2 Status
      FW Version:MCU_Main V1.3.0/MCU_Sub V2.0.0/DEP_SDK V1.3.1.1

Uptime(Day:Hour:Min:Sec)
0000:00:08:12

DHCP      IP              Subnet Mask      Gateway          TCP/IP Port
On        192.168.057.070 255.255.255.000  192.168.057.003  8000
(Static)  192.168.000.200 255.255.255.000  192.168.000.001  8000

Telnet    Mac               Local
23        34:D0:B8:27:18:F5 DA11USB-V2-2718f5

=================================================================
```

図15 - コマンド「STATUS」の応答例

USB オーディオ設定

本機のUSBオーディオ設定は、PC の「システム」メニューで行います。Windows 11 PC を例に入力・出力レベル調整、ビット長、サンプリング周波数の設定方法を説明します。

本機を PC に接続した後、Windows PC 「設定」>「システム」>「サウンド」 の順にクリックすると、PCのサウンド設定画面が表示されます。

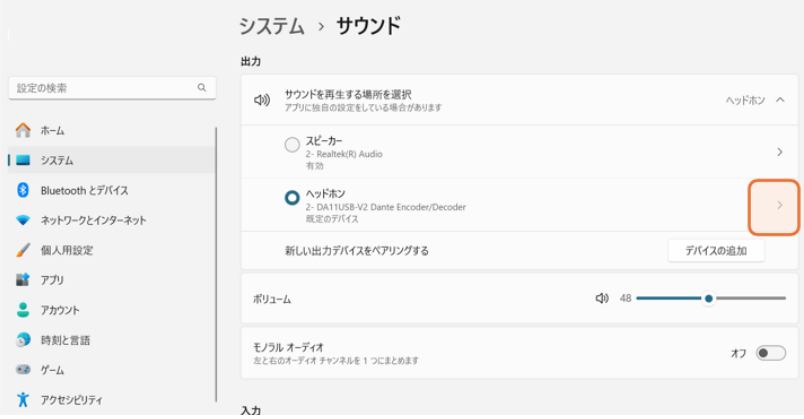


図16 - Windows 11 サウンド設定画面

入力設定

入力デバイスリストから「DA11USB-V2」をクリックします。
「入力の設定」項目から、ビット長、サンプリング周波数、入力音量を設定します。

図17 - Windows 11 サウンド設定画面

出力設定

出力デバイスリストから「DA11USB-V2」をクリックします。
「出力の設定」項目から、ビット、サンプリング周波数、ボリュームを設定します。

図18　Windows 11 サウンド出力デバイスプロパティ画面

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。
確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。

Dante Controllerに検出されない

下記をご確認ください。

- 本機の RJ-45 のインジケーターの点灯が正常であること
- 接続しているネットワークスイッチの DHCP が有効になっていること
- Dante Controllerソフトウェアで設定する PC は本機と同じネットワークセグメントに接続されていること
- Dante Controllerソフトウェアのバージョンが最新であること

Dante Controllerで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダ（送信機）およびデコーダ（受信機）は、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応しておりません。Dante 機器は、必ず LAN ケーブル介してネットワークへ接続してください。接続する PC は Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

PC が DA11USB-V2を認識しない

下記をご確認ください。

- 付属のUSB B to Aケーブル、またはUSB C to CケーブルでDA11USB-V2をPCに接続していること
- PCに接続しているUSBケーブルの接続端子と本体のUSBポート切替スイッチが一致していること
- DA11USB-V2をPCのUSBポートに直接つないでいること（USBハブに差していないこと）

Dante Controllerでデバイス名が赤い文字で表示されます

Dante Controllerで設定するPCのアドレスとDante対応機器のIPアドレスのネットワークアドレスが異なる場合、デバイス名が赤い文字で表示されます。Dante Controllerで設定するPCは、必ずDante対応機器と同じネットワークに接続してください。

Dante Controllerでルーティングできない

Dante Controllerのサンプルレート設定がDante エンコーダ（送信機）およびデコーダ（受信機）で異なっていると正しくルーティングできません。サンプルレートを合わせてください。

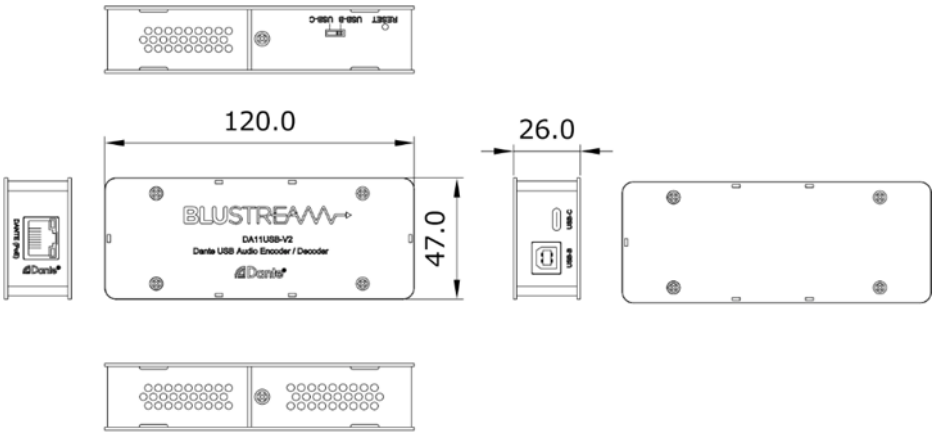
主な仕様

製品型番		DA11USB-V2
Dante オーディオ	RJ-45	Dante オーディオ入出力用(100Mbps)
	ビット長	16 ／ 24 ／ 32bit
	サンプリング周波数	44.1 ／ 48 ／ 88.2 ／ 96kHz ※7
	レイテンシー	2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 ／ 10msec
AES67 (RTP)		対応※8
USB オーディオ	USB Type-B	Dante オーディオエンコード／デコード用(USB2.0)※9
	USB Type-C	Dante オーディオエンコード／デコード用(USB2.0)※9
	ビット長	16 ／ 24 ／ 32bit
	サンプリング周波数	44.1 ／ 48 ／ 88.2 ／ 96 ／ 176.4 ／ 192kHz
電源		PoE(IEEE 802.3af クラス 1 準拠) または USB バスパワー(5V 500mA)※10
消費電力		最大 2W(PoE 駆動時) ／ 最大 1.5W(USB バスパワー駆動時)
動作温度		0～40℃
保存温度		-20～60℃
動作／保存湿度		20～90%(結露なきこと)
本体寸法(WxDxH)		120mm x 47mm x 26mm(突起物を含まず)
本体重量		約 95g
同梱物		DA11USB-V2 本体 x1 ／ USB B to A ケーブル(約 1m) x 1 ／ USB C to C ケーブル x 1(約 1m) ／ 保証書 x 1
製品保証		ご購入日より 3 年間

表3 – 主な仕様

外型寸法

単位:mm



※7 Danteエンコーダとデコーダを接続(サブスクライブ)する場合、同じビット長、サンプリング周波数に設定する必要があります。
※8 AES67エンコーダまたはデコーダとしてご利用になる際、Dante Controllerでサンプリング周波数48kHz、ビット長24ビット、レイテンシー2msecに設定し、AES67を有効に設定してからご利用ください。
※9 本体の切り替えスイッチでUSB接続モードを切り替え、該当する付属USBケーブルでPCに直接接続して(USBハブ機器を経由せずに)ご利用ください。
※10 USBバスパワーとPoEを同時に接続した場合、PoEからの給電が優先されます。
※ 必ず保有されている機器との事前検証をお願いします。
※ Microsoft、Windows、 Windows ロゴ、Office ロゴは、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Apple、Appleロゴ、Apple TV、iPad、iTunes、およびMacは、米国その他の国や地域で登録されたApple Inc.の商標です。商標「iPhone」は、アイホン株式会社の許諾を受けて使用しています。
※ 記載されているソフトウェア名・製品名・サービス名などは各社の商標、または登録商標です。
※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

図19 - 外型寸法

サポート専用問い合わせ先

お問い合わせの前に･･･「FAQ よくある質問」をご参照ください。
https://www.ad-techno.com/support/info/faq/converter/

それでも解決しない場合：
ウェブフォームよりお問い合わせください：

製品のお問い合わせ：www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談：www.ad-techno.com/support/service/contact/

ご注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。
また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。